

# わかやま

No.7

和歌山県精神保健福祉センターだより 2001年4月

和歌山県精神保健福祉センター

〒640-8319

和歌山市手平二丁目1番2号 県民交流プラザ“和歌山ビッグ愛”2階

電話(073)435-5194 FAX(073)435-5193

## 「今後の地域精神保健福祉と家族会活動について」

和歌山県精神障害者家族会連合会（和家連） 会長 大島信雄

この10年間の精神障害者に対する施策を振り返ってみますと、昭和62年および平成5年の法律改正により、精神障害者の人権に配慮した適正な医療の確保や、社会復帰の促進が講じられてきました。

これは、精神障害者が病院での治療中心から社会復帰施設、さらには地域社会へという施策の表れです。いかえれば、精神障害者の自立と社会参加の促進をはかることがあります。身体障害者、知的障害者と同じように、精神障害者も障害者と認められ、また、福祉施策の対象になりました。当事者（本人・家族）としては長年の悲願でもあった福祉の視点がもりこまれたことを、画期的なことと非常に嬉しく感じました。しかし、精神障害者も福祉の対象とはいいながら、福祉的な施策が他の障害分野とは格差のあるのが現実です。今、私達家族は、精神医療・福祉の分野の過去を正確にとらえ、今後に向けて医療・社会福祉が家族にとってどうあるべきかをしっかり認識しなければならない大切な時期です。

平成14年度から、精神障害者の福祉サービスの窓口が市町村に移されます。私達精神障害者を持つ家族（会）は、家族会に対して、より理解を深めていただきさらなる支援を得るために、各市町村、社協（社会福祉協議会）と共により多くの関わりを持つことが大切であると感じています。

充実した「医療と福祉」の時代にするために、私達家族（会）が社会資源、受け皿づくりに先頭をきっていく義務があると思っています。身近にある市町村役場、社協に対して「余りにも身近すぎて・・・」という偏見の思いが精神障害者やその家族にあれば、地域の福祉施策が展開しにくいのではないかと思います。地域の方も、当事者も根強い精神障害（者）に対する偏見というバリアを除くため、多くの方の支援を得られるよう、それぞれの地域において、精神障害（者）に対する啓発運動を強力に推進していかねばなりません。障害を持ちながらも地域で当たり前のように生活できる「福祉の社会」がくることを念願するしだいです。

= 県下の保健所及び管内の紹介をして6回目になります。今回は中紀の御坊です =

## 御坊保健所及び管内のご案内

御坊保健所は和歌山県のほぼ中央に位置し、1市7カ町村を有しています。管内面積は578.92km<sup>2</sup>、管内人口74,634人（平成12年3月31日現在）です。

### 保健所の活動

#### ※こころの健康相談

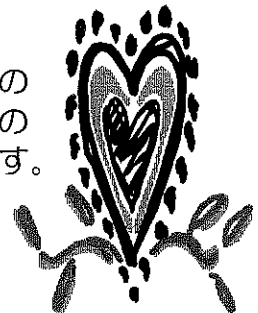
嘱託医による相談を月4回、患者及び家族を対象に実施しています。保健所及び患者宅での相談に依拠しており、精神病独特の医療の受けづらさ（偏見、病識のなさ等）に対して嘱託医の協力のもと、早期に医療を提供できる体制を取っています。

#### ※家庭訪問

相談員や保健婦による家庭訪問は随時実施しています。保健所事業の増加に伴い、家庭訪問の件数は減少してきており、在宅の精神障害者の病状が急変した場合等の緊急を要する家庭訪問が多くなってきています。

#### ※デイケア

御坊保健所のデイケア教室は、昭和63年10月に開催され、以後回復途上にある精神障害者がグループ活動を通じて親睦を深め、社会復帰の促進を図ることを目的に、毎月第2・第4火曜日に実施しています。



#### ※家族教室

精神障害者を抱える家族が病気を正しく理解し、正しい知識を身に付けて集団の持つ総合的な力で家族の抱える問題を解決し、家族自身の持つ潜在的な力を回復・強化することを目的に実施しています。平成10年より、当事者との交流の場を設けたこと・具体的な対応の練習を実施したことで病気についての理解が深まりつつあります。

#### ※精神保健ボランティア講座

精神障害を正しく理解し、様々な活動を通して、障害者と共に生きる社会を築くことを目的に、ボランティア育成事業を行なっています。1クール4回、平成12年度の修了者は、13人でした。

#### ※アルコール依存症者を抱える家族のつどい

平成12年度、新規として取り組んだ事業です。

アルコール依存症になってしまうと、本人はもちろん、家族はアルコール依存症者の言動に振り回され、普通の日常生活を送ることすら大変になってきます。以前から、相談員や保健婦の活動の中から家族のつどいの必要性を感じており、今年度初めて実施しました。アルコール依存症者を正しく理解し、正しい家族の対応方法を習得し、家族自身が安定した生活が送れるようになることを目的に、6回実施しました。

平成13年度も継続して実施していく予定です。

## 管内の状況

### ※医療機関

総合病院（精神科） 1カ所  
デイケア（週5日）・訪問看護も実施されています。

### ※市町村実施のデイケア教室

由良町・中津村・印南町では、それぞれの町村において精神障害者のデイケア教室を月1回実施しています。

### ※精神障害者小規模作業所 1カ所（ワークステーションひだか）

在宅の精神障害者に対し、作業やレクリエーション活動を行うとともに、就労の場を提供することにより、地域が一体となって、精神障害者の社会参加の促進と福祉の向上を図ることを目的に、平成12年4月に開所されました。

### ※家族会

平成7年度に精神家族会「なぎさ会」が発足し、保健所で事務局をもって側面から支援しています。家族会では、年1回の総会と月1回の例会を行なっています。

### ※断酒会

毎週月曜日、午後7時30分から御坊市内にて例会が実施されています。



精神障害者に対する偏見が残っており、社会資源が少なく、マンパワーも少ない地域ですが、少しずつ変わってきています。平成12年11月には三障害合同による「ふれあい交流会」を開催しました。三障害のなかでは精神障害者に対する施策が一番遅れていますが、この交流会をきっかけに、誰もが住みやすい安心して暮らせる地域づくりを目指しています。

（文責 御坊保健所 生活福祉課）

### わかやまこころのフェスティバル2001開催される

平成13年3月26日（日）那賀郡岩出町のあいあいセンターにおいて、「わかやまこころのフェスティバル2001」が開催されました。こころのフェスティバルも今年で3回目になります。当日は朝から雨が降り参加者の入りが心配されましたが、400人を超える参加者がありました。

午前中は、「障害者の町づくり～浦河べてるの家の活動を通して」と題して、北海道の当事者グループ「べてるの家」から3人の当事者と浦河日赤病院のPSW向谷地生良さんによる講演会でした。「べてるの家」の成り立ちからこれまでの活動が紹介され、テレビやビデオでは見えてこない部分に関して話をしていただけたような気がします。雨にもかかわらず、当事者や家族、関係機関のスタッフなどで会場も満員の状態で、講演会終了後、ロビーでだし昆布やとろろ昆布、わかめなどの浦河の産物が販売

されていまして。朝からの雨も上がりかけた頃、午後からは最近、テレビや新聞で少年犯罪の批評を手がけている精神科医の町沢静夫先生による講演会「子どものころの危機を考える」が開催されました。前半は町沢氏の家族に精神分裂病を患った方がいることに始まり、精神障害者が社会で偏見にさらされている状況をお話しいただきました。後半では相次ぐ少年犯罪がどのような構造の中で繰り返されているのかを説明され、昨年起きた佐賀のバスジャックの事件にも触れられ、なぜあの事件が起きたのかについて、当事者である氏より直接の話しが聞け、大変興味深く参加することができました。



その他、各種団体による展示ブースでは、いろいろな催しものが行われました。県共同作業所連絡会による100円ショップや作業所の作品販売。県家族会連合会による全家連誌の販売。精神病院協会による精神科入院患者さんの絵画や手芸などの作品展示、精神保健福祉協会は「シルバーリボン」のピンバッチの配布、県断酒連合会では書籍販売やパッチテストの実施を、県精神障害者団体連合会は喫茶コーナーを実施、県PSW協会は「精神障害者の偏見に関するアンケート調査」を行いました。その他にも、てんかん協会和歌山支部、やおき福祉会、一麦会、県薬務課など11の団体による催し物で場内は賑わっていました。事前の準備から当日の参加までご協力いただいた団体の皆様、「お疲れさまでした。ありがとうございました。また、来年もがんばりましょう。」

### 参加者アンケート結果 (105人)

性別	
男	38人
女	58人
不明	9人

年齢	
10歳代	0人
20歳代	26人
30歳代	13人
40歳代	22人
50歳代	19人
60歳代	18人
70歳代	5人
不明	2人

住所	
和歌山市	26人
海南市	8人
橋本市	10人
有田市	3人
御坊市	2人
田辺市	1人
新宮市	2人
那賀郡	38人
伊都郡	2人
海草郡	2人
有田郡	5人
日高郡	2人
西牟婁郡	1人
不明	3人

何で知ったか	
ちらし	20人
ラジオ	1人
テレビ	0人
知人・友人	20人
保健所	13人
県民の友	15人
その他	37人

印象に残ったこと	
午前の講義 (べてるの家)	42人
午後の講義 (町沢静夫氏)	40人
展示物	11人
物品販売	13人
その他	2人
未記入	33人

講演会に関しては、午前午後共に良かったという感想が多く、特に午前の講演では、障害がありながらも元気で生きていく姿がすばらしく、感動し、希望が持てた。精神分裂病の人が身近に感じられた。体裁を気にして生きるのではなく、もっと自分らしく生きたいと思った。自分の中で考え方が変わった。自分自身の生き方を考えなおす機会になった。という意見が多く寄せられ、仲間と共に障害と上手につきあい、明るく生きて

いる「べてるの家」のなかまたちに皆さわやかな感動を覚えたようです。当事者や家族には肩の力を抜いて、自分らしく生きていけばよいという希望を与え、これまで、精神障害者と出会ったことのない県民の方には、障害者の真剣で前向きな生き方が伝わったようでした。

午後の講演では、分裂病のこと、少年犯罪のことが良くわかった。少年犯罪の真実がわかった。物の豊かさと、心の豊かさの大切さについて考えさせられた。分かりやすく良かった。という感想でした。

### 全国の主な研修会・学会のお知らせ

#### 1. 第97回日本精神神経学会

とき 平成13年5月17日(木)~19日(土)

ところ 大阪国際会議場

テーマ 「心の医学・医療・新ステージ」

連絡先 大阪大学・医・精神医学教室

TEL 06-6879-3051

#### 2. 日本家族研究・家族療学会第18回大会

とき 平成13年5月24日(木)~26日(土)

ところ 札幌市教育文化会館

内容 5月24日(木)

<ワークショップ>13:00~17:00

①家族面接の入門編 ②ナラティブセラピー

③プリーフセラピー ④ピアスパーベジョン

<一般公開講座> 18:30~20:30

「虐待の現状とケア」 参加費 1,000円

5月25日(金)

<大会シンポジウム>9:40~18:00

「家族臨床の課題:「17歳問題」への理解とアプローチの視点を求めて」

5月26日(土)

<教育講演>9:20~15:30

①初老期・老年期痴呆の臨床

②精神科臨床での家族療法的アプローチの実践

連絡先 日本家族研究・家族療学会第18回大会事務局

北海道医療大学・医療福祉学科

TEL 01332-3-0872

#### 3. 第23回日本アルコール関連問題学会

とき 平成13年6月1日(金)~2日(土)

ところ 札幌プリンスホテル

テーマ 試されるアルコール・薬物医療

~精神保健、医療、福祉への広がりをめざして~

<基礎講座>

①市民と考える飲酒関連問題

②依存・虐待から子供たちを守ろう

③依存症の臨床的基礎を学ぶ

<特別講演>

アルコール依存とうつ病のComorbidity

<分科会>

連絡先 第23回日本アルコール関連問題学会事務局

旭山病院医局内

TEL 011-641-7755

#### 4. 日本家族心理学会第18回大会

とき 平成13年6月9日(土)~10日(日)

ところ 三重大学生物資源学部

テーマ 家族の教育力を問う

~父親のあり様と家族相互作用~

6月9日(土) ワークショップ

①テーマ別ワークショップ

②全体ワークショップ

「家族の自己組織性をめぐって」

6月10日(日) シンポジウム

①文化と親機能~外国人家族に学ぶ~

②家族のあり方を考える

参加費 ワークショップ

テーマA 13,000円

B, C, D 10,000円

シンポジウム 無料

連絡先 日本家族心理学会第18回大会準備委員会 三重大学教育学部

TEL 059-231-9327

## シルバーリボンとは

アメリカでシルバーリボンキャンペーン（精神病への偏見などを取り除くための運動）が実施されています。このリボンをつけることで私達は精神障害者の方たちに学び、共に生きていくことを考え、実行していきたいと思えます。  
和歌山県でもこの運動を広めてゆきましょう。

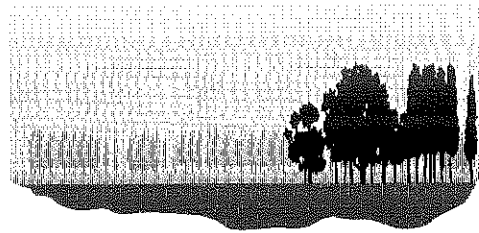


精神障害者の方達への思いやりを忘れないように、  
治療やサポートへの壁をなくすために、  
精神障害に対する偏見をなくすために、  
教育や研究によって、希望が持てることを知ってもらうために。

シルバーリボンをご希望の方は、精神保健福祉センターまで取りに来てくださればさしあげます。（事前にご一報下さい。） TEL 073-435-5194

## センター研修会のお知らせ

- ・平成13年度精神保健福祉関連新任者研修  
日 時 平成13年6月28日（木） 10:00～16:00  
場 所 精神保健福祉センター  
内 容 精神保健福祉の歴史、精神保健福祉制度、精神疾患の理解、  
地域精神保健福祉活動  
対象者 精神保健福祉業務に従事して、概ね3年以内の担当者
- ・市町村精神保健福祉担当職員研修  
7月頃に実施予定
- ・精神障害者ケアマネージャー養成研修  
7～8月頃に実施予定
- ・精神障害者ホームヘルパー講習会  
7～8月頃に実施予定



## 県民学習会のお知らせ

- と き 平成13年6月2日13:30～（予定）  
と ころ 和歌山市保健所（予定）  
内 容 講演「災害と精神保健福祉」  
講 師 神戸市こころの健康センター  
副所長 森井俊治先生  
主 催 和歌山県精神医学ソーシャルワーカー協会  
問い合わせ先 社会福祉法人一麦会（麦の郷）山本 TEL073-474-2466

## 編集雑記

4月の人事異動で、精神保健福祉相談員と保健婦が変わりました。このセンター便りも、前任者が研修を受け編集技術を磨いたばかりなのに、初心者の私にバトンタッチ。なんとか見やすい物を、と思いつつも慣れない編集に悪戦苦闘。とても時間がかかってしまい、「慣れれば楽勝さ」と自分を慰めるのでした...（\* \*）